

「^{たんびん}単品」^{ちゅうもん}というのは、^{かね}注文した^{はら}ぶんだけ^たお金を払う^とということです。例えば、
^{いっばい}1杯^{えん}400円の^{はい}ビールを^{えん}3杯^{はら}飲んだら、1,200円払います。

もし、あなたが(わたしの^ずように)ビール好きで、^{じかん}2時間^のでたくさん飲^みむなら、
「^の飲み^{ほうだい}放題」^{ねが}をお願いした^{とく}ほうが得^のです。でももし、あまり飲^みまないなら、^{みせ}お店
^{ひと}の人に「^{たんびん}単品^{ねが}で^いお願いします」と^い言ったほうが^いいいでしょう。

わたしは^{だいす}ビールが大好き^のなので、^{じかん}2時間^{はい}で8杯^のくらい飲^みます。もし、「^{たんびん}単品」
で^{ねが}お願いしたら、^{えん}400円×^{はい}8杯^{えん}で、^{はら}3,200円も^{はら}払^ななければ^なり^ません。でも、
「^の飲み^{ほうだい}放題」^{ねが}で^{えん}お願いしたら、^{えん}1,500円^すだけで^の済^{ほうだい}みます。「^の飲み^{ほうだい}放題」は、^のビール
だけではなく、^にいくつかの^{ほんしゅ}ワインや^{えら}日本酒、^{えら}ジュース^のなども^{えら}選^ぶことができる^の
で、^の飲^むことが^す好きな^{ひと}人^ににとっては、^ととても^うれ^いしい^さー^びす^です。

ところで、この「^の飲み^{ほうだい}放題」の^{みせ}サービスは、^のお^{みせ}店^ににと^つても、^うれ^いしい^さー^びす^なので^しょう^か。

^{いっばい}1杯^{えん}400円の^{げん}ビールの^{えん}原^{げん}価^かは、^{えん}150円^かくらい^しょう^すう^です。原^{げん}価^かという^のは、^しょう^すう
^{ひん}品^をつ^くる^ため^の材^{ざい}料^{りょう}や、^しょう^{ひん}その^しょう^{ひん}商品^をつ^くつ^たり^う売^つつ^たり^する^の人^の給^き料^{りょう}
^どにか^かる^お金^です。1杯^{えん}400円の^{えん}ビール^は、^{えん}150円^{げん}が^{えん}原^{げん}価^かで、^{えん}250円^いが^いざ^かや
^り利^{えき}益^にな^りま^す。もし、^きゃく^たん^{びん}お^はい^ちゅう^もん客^が「^{たんびん}単品」^はい^ちゅう^もんで、^いざ^かや3杯^を注^い文^したら、^いざ^かや居酒屋

250円 × 3杯で、750円の利益を得ることができます。もし、お客さんが「飲み

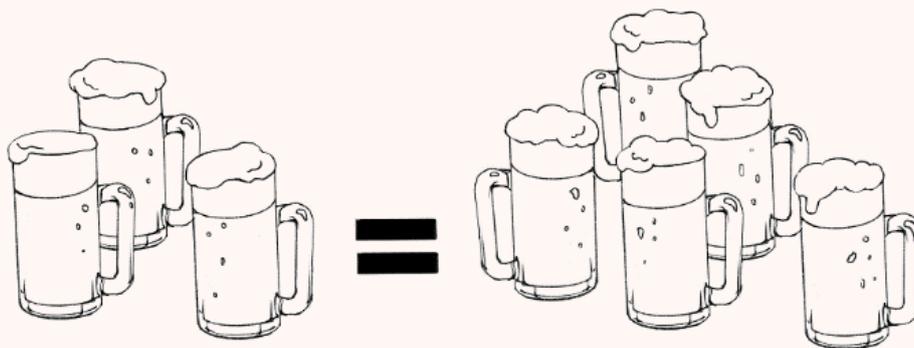
放題」で5杯注文したら、どうでしょう。お客さんが払うのは1,500円です。

5杯ぶんの原価は150円 × 5杯で750円です。だから、居酒屋は1,500円 - 750

円で、750円の利益を得ることができます。つまり、「飲み放題」のお客さんが

5杯飲んだときの利益と、「単品」のお客さんが3杯だけ飲んだときの利益は同

じになります。



単品

飲み放題

Sasaki Akino

もし、この居酒屋で、「飲み放題」をお願いして、ビールを10杯飲んだら、ど

うでしょう。10杯ぶんの原価は1,500円になりますから、居酒屋の利益はなくな

ってしまいます。でも、実際には、そんなにたくさん飲む人はあまりいないので

(時々いますが)、居酒屋の利益がなくなることは、ほとんどないそうです。

さて、この話の最初に出てきた友だちはというと……。

ビールが大好きなので、2時間で10杯以上は飲みます。彼女にとっては「飲み放題」はとてもうれしいサービスですが、居酒屋さんにとっては彼女は「来てほしくないお客さん」かもしれません。

(1241字)

(2021.12 Written by Junko SATO)

(All pictures are drawn by Akino SASAKI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.